

校内重点研究



研究主題

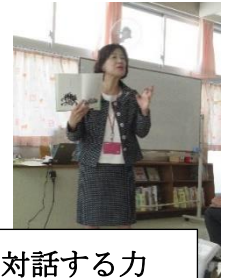
言葉の特徴や使い方についての理解を深め、自分の考えを表現する子の育成
～身に付けたい力を明確にした授業を目指して～

学習指導要領の改訂を受け、今年度から教科書が変わりました。本校の校内重点研究は「国語科」に取り組みます。これまでの学習内容と変わった点を確認するとともに、子ども達自身ができたことを認め合って学習を積み重ねていく大切さを改めて感じています。このことから、自分の考えを形成し、それを表現するための技法や語彙力を身に付ける必要があると考えました。

後期は授業研究を通して各学年・各自で研究を深めていきますが、それに先だち、講師に永池啓子先生をお招きして研修をしました。その際の様子をお知らせいたします。

【講演会】

これからの時代は、ソサエティ 5.0 の時代(AI 技術が発達し、人工知能が人が行ってきたものを大体できる時代)とされている。



ソサエティ時代に共通して求められる力



文章や情報を正確に読み解き 対話する力
科学的に考えて吟味して それを使いこなす
あるいは 価値を見つけ出す感性の力
好奇心・探究心

自立した学びにつなげていくために、それらの力を身に付けさせることが教師の大切な仕事
好奇心・探究心…使えること・できることは経験を通して高める。
対話する力…「わからない」から出発する学び合いが始まる。

発表するとき○教師が「違う意見を出してね。」ということで、自分の考えと照らし合わせて集中して聞く力を高める。

○発表者の表情を見ることで、相手の意図を汲む力を高める。



<教師の思い>

・教員が「これまで通り」でなく、今、そしてこれからの社会についてきちんと知り、学び、どのような力を身に付けさせる必要があるのかを考えていくことが大切だと思った。

- ・子どもたちの「楽しい!」「もっとやりたい!」という気持ちを引き出せるよう、声かけ一つひとつに思いをもって、授業できるように頑張りたい。
- ・旧教科書と新教科書の内容を比較し、違いを明確化したことで、新教科書の学習のねらいや子どもたちに付けさせたい力について確認することができた。

